

1 旅行前について

- (1) 毎日の検温を実施し、体調の管理に努める。
- (2) 修学旅行の準備期間及び修学旅行前日には、教員から生徒に対して、修学旅行の目標、感染症対策についてガイダンスを行う。
- (3) 旅行用の持ち物にマスク、マスクを入れるビニール袋、除菌シート等感染症対策のための持ち物を携行する。
- (4) 発熱など、体調のすぐれない場合は、参加を見合わせる。

2 旅行中の移動時について

- (1) 移動には、借り上げバスを用い、公共交通機関を一切利用しない。
- (2) 乗車中は、全員マスクを着用し、会話を最小限に抑え、静かに過ごす。
- (3) 旅行業者を通じて、バス乗務員の健康管理やマスク着用、車内消毒の徹底を依頼する。
- (4) バス内は、定期的な空調による外気との換気を行う。
- (5) バスの乗降時には手のアルコール消毒を行う。
- (6) バス内の食事は、静かに無言で行う。

3 施設（ディズニーシー等）内について

- (1) マスク着用の咳エチケットを守り、手洗いの励行に心がける。
- (2) ディズニーシー内では、他の利用客とのソーシャルディスタンスを必ずとり、アトラクション乗降時に必ずアルコール消毒を行うなど感染予防をとる。
(※施設内では、消毒の徹底と手洗い・消毒設備の設置を確認しています。)
- (3) 昼食中は、可能な限り座席の間隔をけると同時に、向かい合わせにならないように努める。
- (4) 昼食中に話をする場合には、その都度マスクをつけるよう心掛ける。
- (5) 食事時は、外したマスクは、手持ちのビニール袋等に入れて各自で管理をする。

4 旅行者との連携

- (1) 事前から旅行中、終了後まで新型コロナウイルス感染防止について綿密に連絡を取り合って準備と実施にあたる。
- (2) 集合場所や移動の場合は、可能な限り開放した広い場所を確保し、列の間隔や隊形、移動方法などを工夫する。
- (3) 現地での診察体制など、緊急時の対応について事前にマニュアルを提示する。

5 旅行中の発症者発生時（疑いを含む）の対応について

- (1) 速やかに発症者の隔離・看護を行う。
→基本的に発熱の症状が見られた段階で、当該生徒の旅行は中断あるいは、他の生徒と別行動をとる。
- (2) 保護者へ第一報を入れる。
- (3) 速やかに現地の医療機関を受診する方向で調整する。
- (4) 現地の医療機関受診の場合、医師の指示に従う。
- (5) 医療受診中および受信後保護者にはその都度連絡をする。

6 保護者の皆様へ

- (1) 万が一発熱や体調不良、怪我などの事態の際は、連絡をしますので、ご協力をお願いいたします。※勤務先に連絡を入れさせていただく場合もございます。ご了承ください。
- (2) 旅行期間中に連絡が必要になった場合は、学校へ連絡をお願いします。
- (3) 本旅行参加にあたり、感染症対策にご理解をいただいたうえでお子様を参加させていただきますようお願いいたします。
- (4) 新型コロナウイルス感染症はワクチン接種により重症化を防ぐことができますが、完全に罹患することを防ぐには不可能な状況です。しかし、現状でできる対策を講じ、修学旅行を実施するため、ガイドラインを策定いたしました。無事に帰着し、生徒にとって「思い出に残る修学旅行」とするため、関係者全員が意識して取り組んでいくことが必要です。そのためにも、このガイドラインをお読みいただき、旅行に参加にご承諾いただきますようお願いいたします。

(なお、この基本方針につきましては、朝日丘中学校 HP に掲載をする予定です。)